



英国・ロンドンの「福島庭園」開園3周年

7月16日、現地で式典

本県の現状伝え、記念植樹

復興への思い刻む

福島民報社の「復興大使」派遣がきっかけとなり、英国・ロンドン中心部のホーランド・パークに整備された「福島庭園」の開園三周年記念式典は七月十六日、現地で行われる。平成二十七年年度の復興大使が出席し、在英県人会ロンドンしゃくなげ会などの関係者とともに復興への強い思いを刻む。

記念式典はロンドンしゃくなげ会と福島民報社が中心となって催し、庭園を管理する王立ケンジントン・チェルシー区の関係者や、憩いの場として利用する市民らに感謝の気持ちを伝える。記念植樹を行うほか、復興大使



7月に3周年記念式典が行われる福島庭園。シャクナゲなどが咲き誇り、ロンドン市民の憩いの場として親しまれている＝10日、ロンドンしゃくなげ会の満山会長撮影

が東日本大震災や東京電力福島第一原発事故から四年を経た本県の様子、古里再生への思いなどについてスピーチする予定。福島民報社の訪問団が復興大使と共に出席する。

ロンドンしゃくなげ会の満山喜郎会長（左）は「いつ福島庭園を訪れても英国人や旅行者の姿が絶えず、福島への温かい思いを感じる。その思いが県民の元気につながるよう、庭園を大切にしていきたい」と話している。福島庭園はロンドン五輪開幕直前の平成二

十四年七月二十四日に開園し、二十四年度の復興大使三人や本県の五輪選手らが開園式で県花ネモトシャクナゲなどを植樹した。震災から二年の二十五年三月十一日には、天皇陛下のお言葉に刻んだ石碑が建立、除幕された。開園二周年の二十六

年七月には、ロンドンを開いた。しゃくなげ会と福島民報社が英国の国会議事堂・ウェストミンスター宮殿で「起き上がり小法師（こぼし）展」